

# 11日・県専門委が大飯原発「安全」と西川知事に報告 12日・知事が大飯原発視察し「安全対策がおこなわれている」と表明



(写真) 福井県庁前で、専門委の再稼働容認に抗議し、プラスターや旗を掲げる京都亀岡年金者組合の三上悟支部長(右端)とそのメンバー5名(2012年6月12日午後)

## 専門委の「安全」宣言と、知事の「安全対策」容認に抗議する

関電大飯原発3、4号機の再稼働をめぐり、技術的な安全性を検証してきた県の原子力安全専門委員会(委員長・中川英之福井大名誉教授)は六月十一日、同原発の安全性を確認したとする報告書を西川一誠知事に提出。本日、西川知事は大飯原発を視察し「安全対策がおこなわれている」と表明しました。専門委の報告を受け、おおい町の時岡忍町長や県議会の意見を踏まえて西川知事は、週内にも再稼働への同意を政府に伝えるとみられます。

これに対し、原発問題住民運動福井県連絡会などは五月二十一日から続けていた県庁前の座り込み宣伝行動を六月十六日まで継続することを決めて、十二日も県庁前で同宣伝を行いました。これには「いてもたってもいられず、始発の新幹線でかけた」という静岡県民医連の女性や京都府綾部の男性、同府亀岡市の年金者組合の男性七名ら、二十三名が参加。十名がマイクをにぎり、終日街頭から訴えました。

## 連絡会や新婦人、京都亀岡年金者組合が知事と県議会に「慎重審議」など申し入れ

この行動と結んで、午前中には原発問題住民運動福井県連絡会と新日本婦人の会福井県支部が田中敏幸福井県議会議長に「拙速に判断せず、六月県議会で十分な審議を求める申し入れ」を、午後には年金者組合京都亀岡支部が同議会と西川知事に対し「再稼働中止の緊急再要請」を行いました。

各団体は、専門委が福島第一原発を襲ったような地震・津波が来ても、大飯原発3、4号機の「原子炉の安全を確保するために必要な対策は確保できている」。また政府が四月に暫定的に示した再稼働基準についても「現時点で知り得る限りの知見を反映している」と追認。さらに、大飯原発は電源や原子炉冷却機能の確保に必要な安全対策が取られているなどと結論付けたことに対し、「福島第一原発事故の究明もされていないのに、政府や関電の言い分をうのみにした無責任な判断だ」と批判しました。

各団体は、専門委が、事故が起きた際の対応拠点となる免震事務棟や「フィルター付きベント」設置が3年先になることや、防波堤のかさ上げが来年度まで完成しないことも認めたことに対して、「福島原発を襲ったような地震・津波が来ることはないという前提の結論で、従来の「安全神話」から一歩も出ていない」と強調し、抗議しました。

## 「県庁前 座り込み・宣伝(16日まで)」、「6・17いのちが大事・なぜ再稼働・ふくいでつながろう集会」のご案内

県連絡会では、11日～16日も引き続き、県庁前で宣伝抗議座り込み行動を継続します。さらに、17日には、「いのちが大事 今なぜ再稼働? ふくいでつながろう」再稼働反対の緊急集会がお昼12時～福井市中央公園で開催されます。当日は1分間アピール(希望者は10時半～11時半会場にて受付)を行い、2時半からパレードして反対をアピールします。ぜひご参加を!

### 【福井県庁前宣伝署名募金座り込み行動の延期】

日時 6月11日(月)～16日(土)

午前9時～午後5時

場所 福井県庁前(福井市大手、農業会館前にて)

### 【「いのちが大事・今なぜ再稼働・ふくいでつながろう」集会】

日時 6月17日(日)正午より

場所 福井県福井市中央公園(福井県庁よこ)

連絡先: 原発問題住民運動県連絡会・事務局長 林 広員 (090-8263-6104)



(写真) 県庁前で、早朝から座り込み宣伝する(右から)林広員・連絡会事務局長、宇野邦弘同連絡会幹事、静岡民医連の女性(2012年6月12日午前)

連絡会ニュース

原発問題住民運動福井県連絡会  
2012年 6月12日